

長井眞琴 藝文 佛教學者、文學博士。明治十四年七月、二十八日福井縣
 生れ、昭和四十五年八月八日歿（八二—一九七〇）。明治四十年東京帝國
 大學文科大學印度哲學科（第一回生）卒。巴利語・佛典專攻。昭和一
 年東京市大助教授、のち教授。帝大佛敎青年會總理専長。戰後中央商科
 短期大學學長。

譯者心、後水尾院大尊撰撰小説『（白英兩）文對照抄蝶』（サドラー・星野白子
 同郎共譯、加藤玄智編、大正十一年十月十五日元尾文淵堂）、『佛陀

傳』（大正十一年五月十一日新光社）、『獨習巴利語又法』（昭和五

年一月一日丙午出版社）、『佛世講話・（一）阿含經講話』（戒律講話）（赤沼智

善公著、昭和六年七月一日東方書院「佛敎文庫」）、『聖典梵網經』

（昭和十年四月十日日本放送出版協會）、『マインツ・ダール法句經』（譯

昭和二十二年七月、二十五日女同社）等。

